

土壌インベントリ講習会 滋賀会場

開催地 滋賀県湖南市針(格子点 ID250095、グレード1)

開催日時：2007（H19）年6月14日（木）



講師：金子・小林・伊藤（森林総研・立地）、溝口（森林総研・関西）

研修生：滋賀県2名、石川県2名、岐阜県1名、福井県2名、大阪府1名、和歌山県1名、高知県1名、森林総研・木曽1名、森林総研・関西1名

概要：

J R 甲西駅から 1km 地点。タキイ実験圃場に隣接する丘陵地北向斜面、調査地斜面の上部に小さな神社あり。地質は古琵琶湖層群で土壌は砂質埴土で垂角礫混じる。ヒノキ植林地に広葉樹、モウソウチクの進入した森林。今年度からタケ枯死木の分解程度の基準が設けられたので現地で確認した（分解程度が1になるとタケの根元が基部から離れる）。

N 地点は水田放棄地で地下水面が高いために実習は不可であったので、3班に分かれて ESW 地点で堆積有機物量と土壌炭素蓄積量の調査を実施した。代表断面は植生・地形条件が中心点に類似する E 地点付近で行った。土壌は埋没 A 層をもつ BD 型土壌。埋没は人為によるものかどうか不明。容積重試料はすべて円筒で採取できた。ただ当日は終日雨であったためブロックサンプリング実習を行う時間はなかった。滋賀県の小島さんには事前に周到な準備をしていただき、信田所長には土壌断面の掘削をはじめ各調査地点が雨で濡れないようにブルーシートでフライをかけていただくなど、多大なご協力をいただいた。そのおかげで講習は無事終了することができた。